



社会と工学との関わり、その基盤を担う人材とは
Relationship between society and engineering,
and human resources responsible for it

森澤 義富

Yoshitomi Morizawa

旭硝子株式会社 技術本部 先端技術研究所 特別研究員
Fellow, AGC Asahi Glass, Innovative Technology Research Center

日時: 2017年12月21日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

現代は科学技術が社会に深く浸透し、同時に経済活動との関連性も非常に大きい。20世紀、特にその後半の科学技術の進展は生活の豊かさ・経済の発展をもたらしたが、一方でエネルギーや環境などに関連する解決すべき課題も残した。21世紀の科学技術、そしてそれを実践する“工学”は、これらの課題に取り組む最前線にあると言える。同時に、そこには強い社会的ニーズに基づく優れた人材が求められている。

本講義では、社会と工学の関係を企業の視点も含めながら議論する。また、環境に関連する課題など最近の具体例を取り上げ、社会の期待にどのように答えていくべきか、そしてそれが人材開発やキャリア形成とどのように関係付けられるかを述べていきたい。

